

1. 地震活動に関する資料

3 頁 3月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

18 日	三重県中部	深さ 15km M3.9
22 日	伊勢湾	深さ 38km M3.0
31 日	山梨県中西部	深さ 18km M3.1

南関東における M 3.5 の地震は、

2 日	茨城県沖	深さ 52km M3.6
12 日	千葉県北西部	深さ 73km M4.1
12 日	千葉県東方沖	深さ 28km M4.0
20 日	茨城県南部	深さ 63km M3.8
27 日	千葉県北東部	深さ 49km M4.0
30 日	茨城県沖	深さ 47km M3.8

その他の地域で目立った地震は、

13 日	房総半島南東沖	深さ 65km M4.5
24 日	岐阜県飛騨地方	深さ 11km M4.1

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 クラス余震 5 回

4 頁 4月の活動 (1日～20日)

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

1 日	岐阜県美濃中西部	深さ 14km M3.0
7 日	静岡県西部	深さ 37km M3.0
12 日	山梨県東部	深さ 25km M4.1

南関東における M 3.5 の地震は、

4 日	千葉県北東部	深さ 36km M3.7
11 日	千葉県北東部	深さ 52km M6.1
11 日	千葉県北西部	深さ 73km M4.4
17 日	千葉県南部	深さ 69km M4.4

その他の地域で目立った地震は、

7 日	八丈島近海	深さ 24km M4.2
15 日	八丈島近海	深さ 49km M4.1

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震 (M7.4) の M4 クラス余震 2 回

5 頁 東海地域の地震活動指数

固着域：地殻内およびフィリピン海プレート内の短期・中期ともに平常(4)である。

M2.0 以上の地震では、地殻内の中期でやや高い(7)他は、地殻内の長期およびフィリピン海プレート内の中期・長期ともに、ほぼ平常(5)ないし平常(4)である。

愛知県：地殻内では短期でほぼ正常(3)、中期で平常(4)、フィリピン海プレート内では短期で平常(4)、中期でやや低下傾向(2)。

M2.0 以上の地震では、地殻内の中期、長期で平常(4)。フィリピン海プレート内では中期でやや低い(1)、長期でも前回同様 0 であり、活動が低下した状態が続いている。

浜名湖：西側で短期・中期とも平常(4)、東側では短期でほぼ平常(3)、中期でやや低い傾向(1)。東側では短期で見ると 2000 年半ばから低めの指数(1~4)の変動を繰り返し 3 になっている。中期では前回より低下して 1 となった。全域でも短期・中期ともにやや低い傾向(2 および 1)が続いている。

駿河湾：短期・中期ともにほぼ平常(3)。

6 ~ 7 頁 固着域

(1997/01/01 ~ 2005/04/20 M 1.1)

[地殻内]

特段の変化なし。

[フィリピン海プレート内]

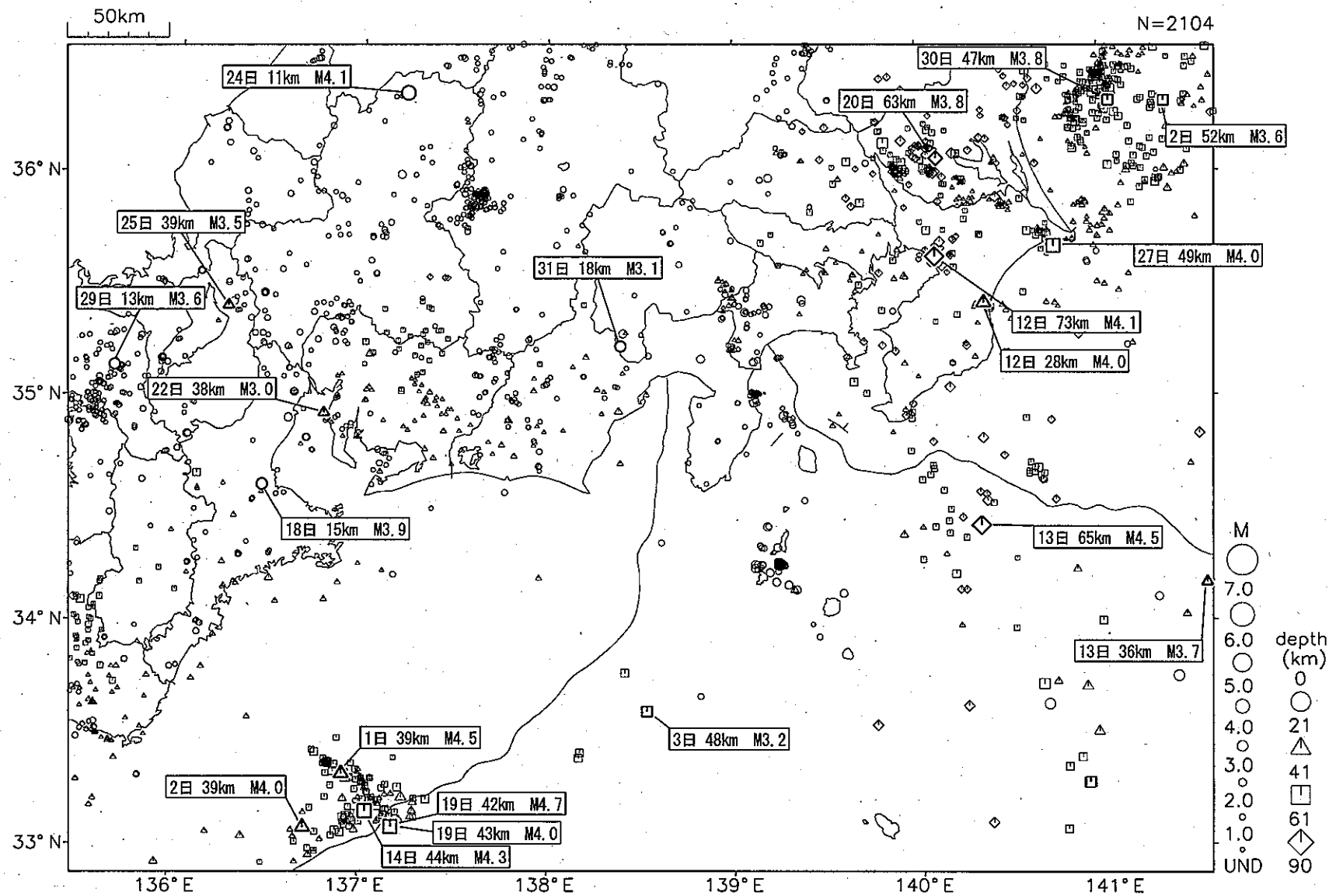
特段の変化なし。

8 頁 浜名湖 (1995/01/01 ~ 2005/04/20 M 1.1 : フィリピン海プレート内)

[東側] 2000 年後半から浜名湖北岸にあるクラスタの活動が低下し、東側全体の活動レベルが低下した状態が続いている。最近では 2003 年 6 月 5 日 M3.9、2004 年 5 月 6 日 M2.8 が目立つ。

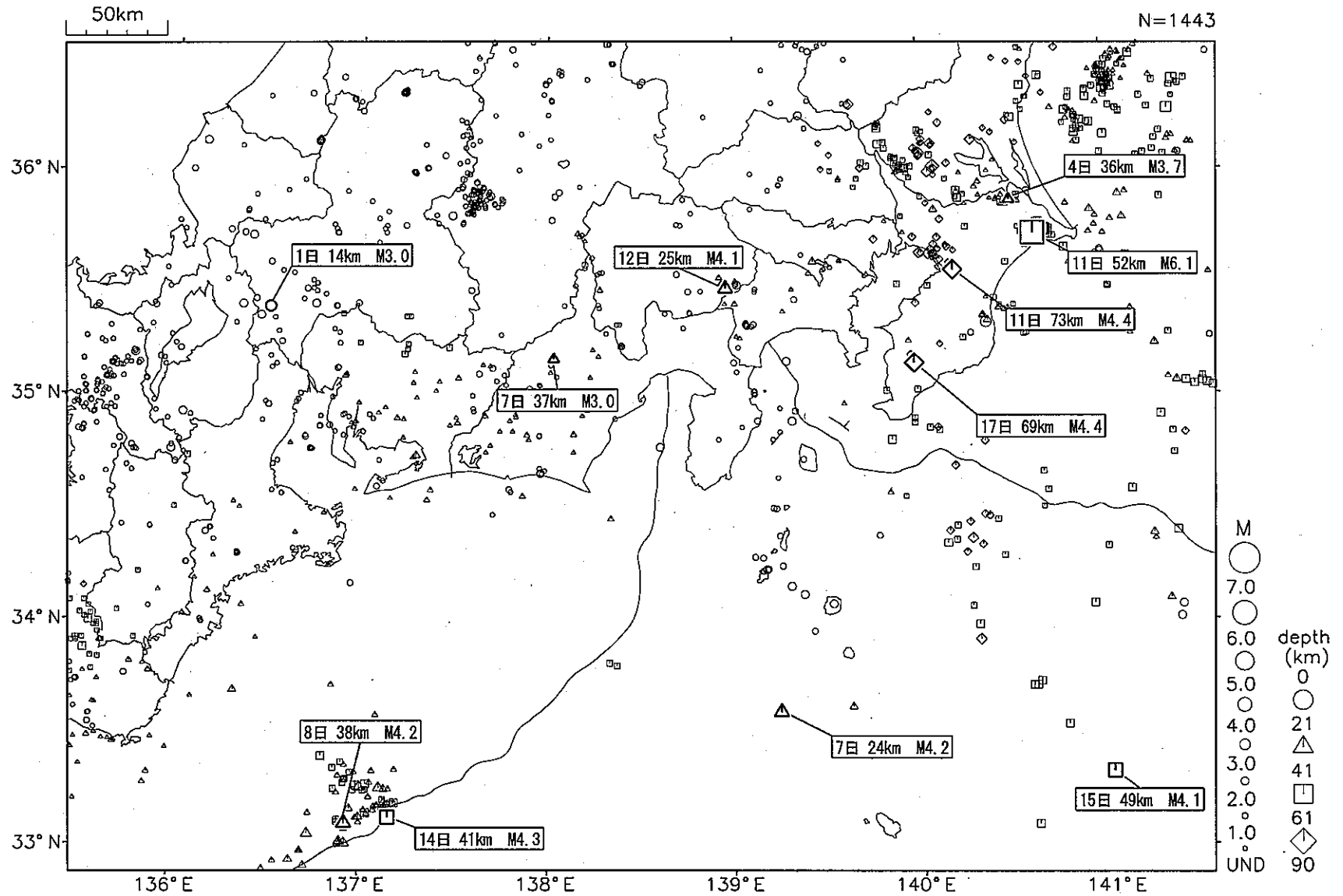
[西側] 西部のクラスタの活動が 2003 年半ばから継続中。

東海・南関東地域の地震活動 2005年3月



気象庁作成

東海・南関東地域の地震活動 2005年4月(1日~20日)



気象庁作成

東海地域の地震活動指数

(クラスタを除いた地震回数による)

2005年4月20日 現在

	① 固着域		② 愛知県		③ 浜名湖			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					西側	全域	東側	
短期活動指数	4	4	3	4	4	2	3	3
短期地震回数 (平均)	5 (6.18)	6 (5.83)	2 (4.37)	13 (12.63)	1 (2.38)	3 (6.08)	2 (3.70)	4 (6.18)
中期活動指数	4	4	4	2	4	1	1	3
中期地震回数 (平均)	18 (18.53)	17 (17.50)	12 (13.11)	30 (37.90)	4 (4.76)	6 (12.15)	2 (7.39)	9 (12.37)

* Mしきい値：

M $\geq$ 1.1：固着域、愛知県、浜名湖、M $\geq$ 1.4：駿河湾

* クラスタ除去：

震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

$\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$ ：固着域、愛知県、浜名湖

$\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$ ：駿河湾

* 対象期間：

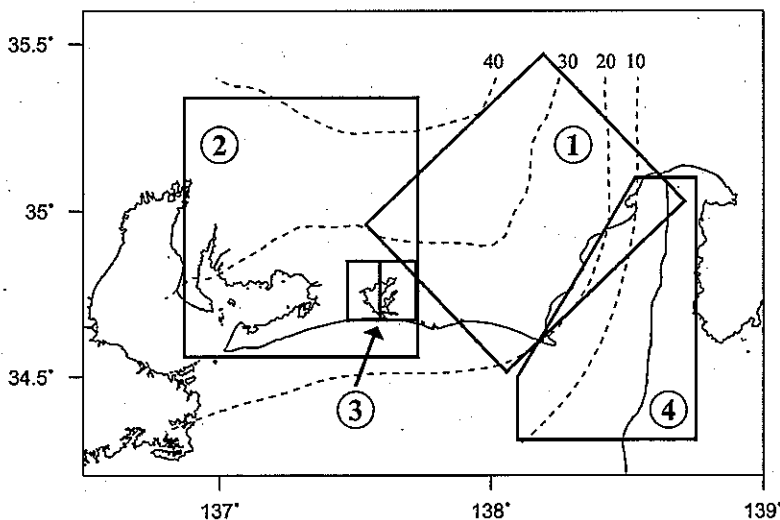
短期：30日間（固着域、愛知県）、90日間（浜名湖、駿河湾）

中期：90日間（固着域、愛知県）、180日間（浜名湖、駿河湾）

* 基準期間：

1997年—2001年（5年間）：固着域、愛知県、1998年—2000年（3年間）：浜名湖

1991年—2000年（10年間）：駿河湾

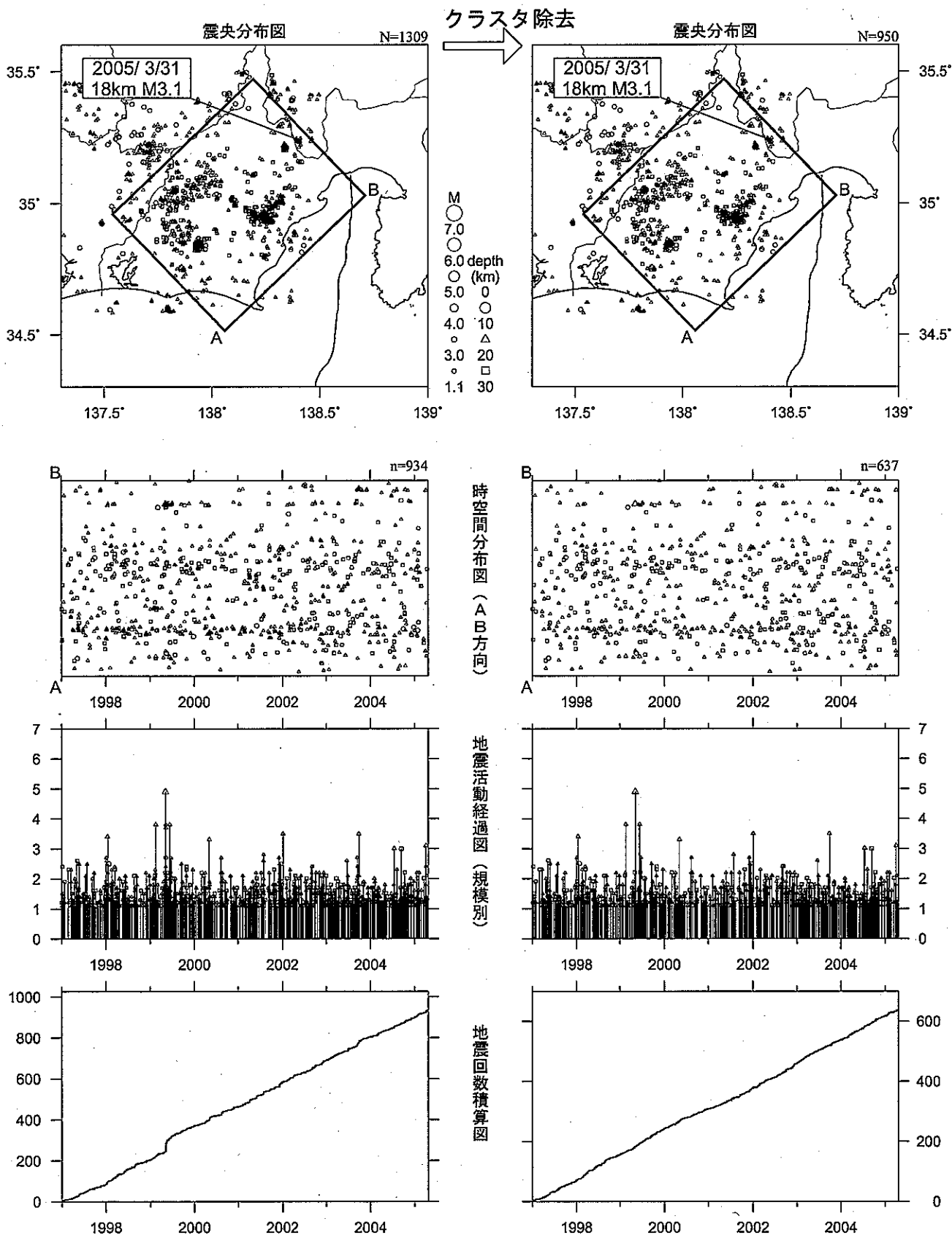


* プレート境界の等深線を波線で示す。

地震回数の指数化

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	↑
6	10	↑
5	15	↑
4	40	平常
3	15	↓
2	10	↓
1	4	↓
0	1	少

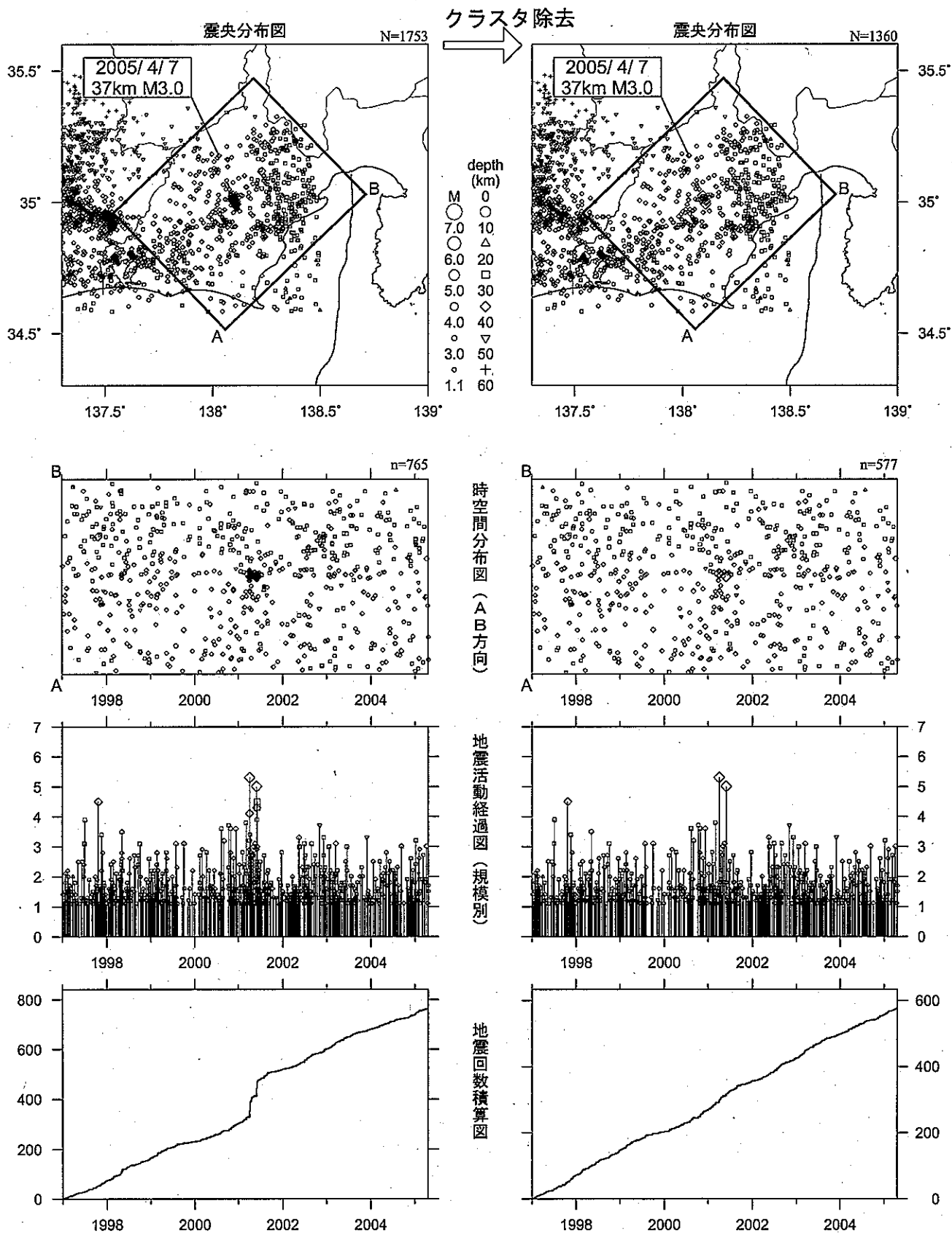
固着域（地殻内）
1997/1/1~2005/4/20 M $\geq$ 1.1



* 吹き出しは最近60日以内、M $\geq$ 3.0

固着域 (フィリピン海プレート内)

1997/ 1/ 1~2005/ 4/20 M $\geq$ 1.1

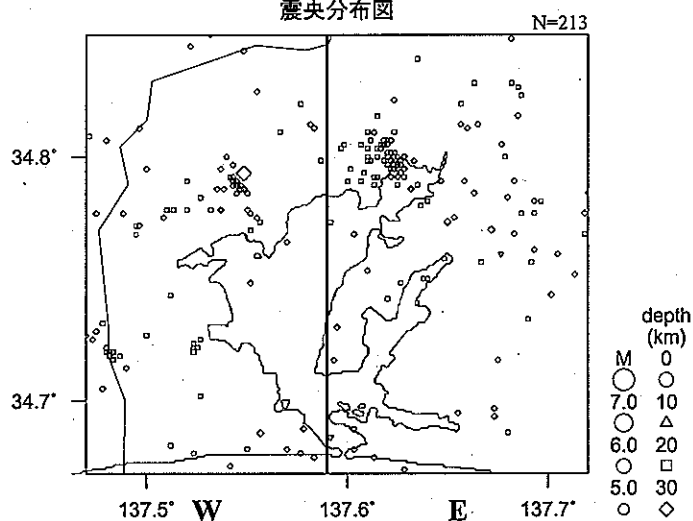


* 吹き出しは最近60日以内、M $\geq$ 3.0

浜名湖（フィリピン海プレート内）

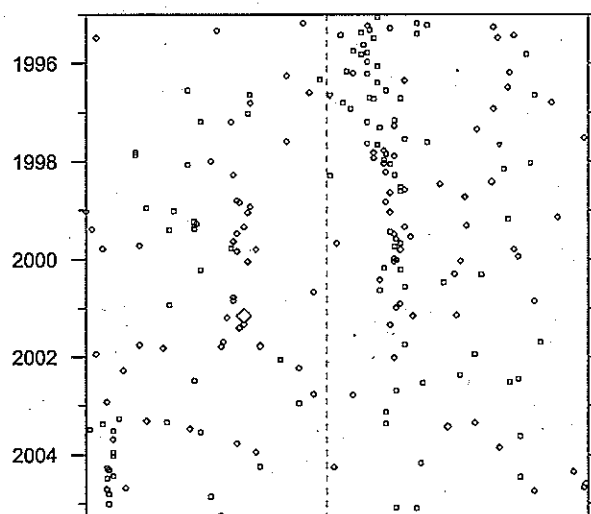
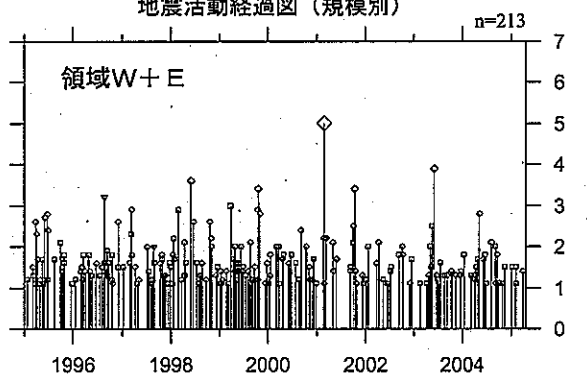
1995/ 1/ 1~2005/ 4/ 20 M ≥ 1.1 * クラスタ除去したデータ

震央分布図

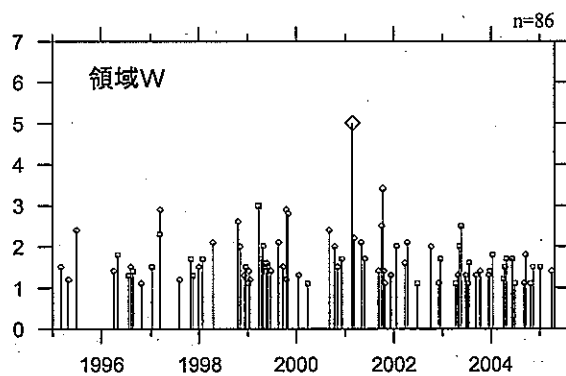
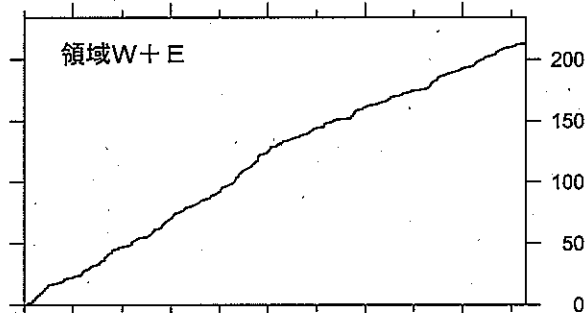


* 吹き出しは最近60日以内、M ≥ 3.0

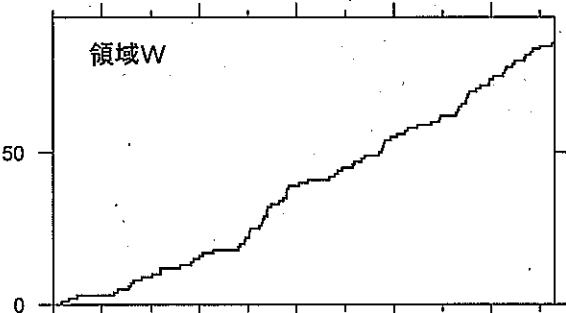
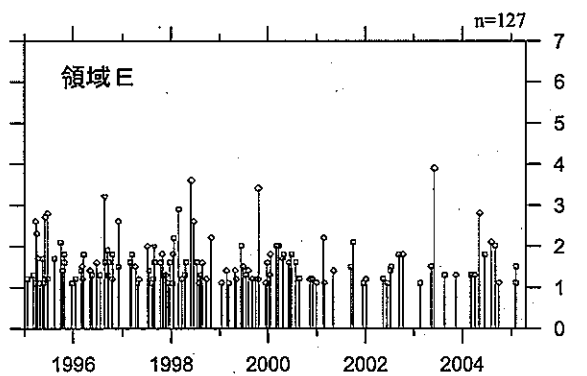
地震活動経過図 (規模別)



地震回数積算図



地震活動経過図 (規模別)



地震回数積算図

